NEWS PAPER

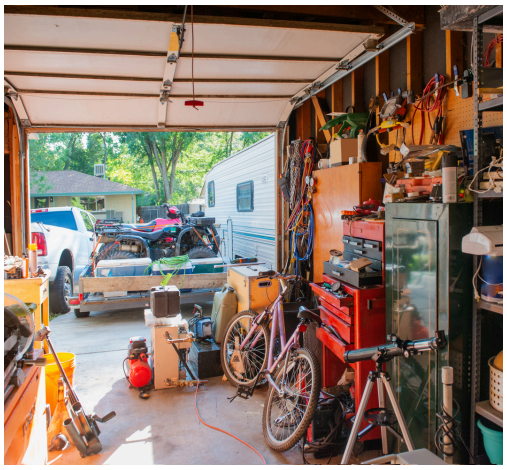
熊ラボ記事

vol. 3

2026年10月21日発行

その熊スプレー、保管場所は大丈夫？

登山や釣りから帰った後、熊スプレーをどこに保管していますか？車の中やザックに入れたまま、次の出番を待っていませんか？次の山行に備えるためには、使っていない間の管理も大切です。今回は、保管場所の見直しと、次に使う前に確認しておきたいポイントをご紹介します。



帰宅後は保管場所へ

帰宅後は車やザックに入れたままにせず、取扱説明書に沿った場所で保管しましょう。安全装置は必要なとき以外は外さず、家族にも保管場所と取り扱いの注意点を伝えます。



高温になる場所を避ける

熊スプレーは高温になる場所に置かないようにしましょう。車内や日差しの当たる窓際など、温度が上がる場所は避けます。保管温度や条件は、本体の表示と説明書で確認してください。

子供の手が届かない所へ

子供の手が届かない場所で保管してください。玄関や床に置いたザックの中も、触れられることがあります。誤って操作されないよう、保管場所を見直しましょう。

使用期限をもう一度確認

本体に記載された使用期限を確認しましょう。未使用でも、期限を過ぎたものは買い替えが必要です。次の山行で期限切れに気づかないよう、予定が決まったら早めに確認し、出発前に準備を整えておきましょう。



※熊撃退ショットの
底の表記の見方

1文字目（C）
⇒識別記号　（日付と関係なし）

2文字目（6）
⇒西暦下一桁（6＝2026）

3文字目（D）
⇒月をアルファベットで表記
（A＝1月、B＝2月、C＝3月、D＝4月…）

4文字目（23）
⇒日付（23日）

使った後の扱いを確認

一度噴射したスプレーは、必要な噴射量が残っていないおそれがあります。使いかけは原則として次の携行用にせず、新しいものを準備しましょう。処分方法はメーカーや自治体に確認してください。

次の山行に備え、
保管場所・使用期限・使用状況を確認！



※製造日から3年を目安にご使用ください。